

2025 年 11 月 1 日

日本船主協会 海事人材部

東京海洋大学海洋工学部 150 周年記念講演会

～長澤会長が船員教育への期待について講演～

2025 年 11 月 1 日（土）、東京海洋大学海洋工学部では 1875 年（明治 8 年）に三菱商船学校として創設されてから 150 年を迎えるにあたり、越中島キャンパスにおいて記念講演会が開催され、当日は約 260 名が来場いたしました。

本講演会では当協会の長澤会長が登壇し、「外航海運業界を取り巻く現状と船員（海技者）教育への期待」と題して記念講演を実施しました。講演の冒頭に同大学海洋工学部創基 150 周年に祝意を述べるとともに、長澤会長の在籍会社である日本郵船と同大学海洋工学部の関係性（源流は同じ三菱商会）と近代史の外航船員教育において如何に東京海洋大学（旧：東京商船大学）が貢献してきたかを説明しました。

続いて、我が国の海事産業群の意義や外航海運が置かれている現状や課題などについて説明し、外航日本人船員数の推移や減少した要因および各社における優秀な外国人船員養成のための取り組み等について説明しました。

最後に、島国・日本において海事産業は無くてはならない存在であり、物資を運ぶ船員が海事産業の要であり、今後も海技者や各社の幹部として外航日本人船員が活躍し続ける意義を説明し、我が国の船員教育をリードし続けて欲しい旨を東京海洋大学に要請しました。



記念講演の様子